

猫ワクチンセット検査における猫パルボウイルス(FPV)判定基準値の変更 ならびに FPV 中和抗体検査受託開始のご案内

FPV ワクチン効果および発症防御抗体価の基準値を HI 抗体価 20 倍以上に変更します。

●猫パルボウイルス（猫汎白血球減少症ウイルス）（FPV）のワクチン効果や防御能の判定のために赤血球凝集抑制試験（HI）が広く利用されています。これは HI 試験が簡便かつ迅速に行えること、さらに抗体検査のゴールドスタンダードである中和試験と比較的相関性が高いことによります。FPV HI 抗体価のワクチン効果、防御能の判定基準の下限値はこれまでの海外での報告で 10～40 倍に設定されています。このため、弊社では 10 倍以上を効果保有の基準値、40 倍以上を長期間の効果が期待される値としてコメントさせていただいておりました。しかし、この HI 抗体価の基準は慣例に従って設定されたものです。

一方、中和抗体価については感染試験という科学的根拠に基づいて基準値が設定されています（中和抗体価 32 倍以上）。そこで、弊社ではより適切な防御基準 HI 抗体価を設定するために、FPV ワクチン接種猫に対して両抗体価を測定し、比較検討いたしました。

その結果、下表に示すように HI 抗体価 20 倍および 40 倍以上の全例で防御能の判定基準である中和抗体価 32 倍以上を保有していたのに対して、HI 抗体価 10 倍および 10 倍未満ではそれぞれ 11.1%、61.0%が中和抗体価 32 倍を下回っていました。

●以上の知見から、ワクチン効果および発症防御抗体価の HI 抗体価の判定基準値を 20 倍以上に設定することにいたしました。

| | | サンプル数 | 中和抗体価 | |
|--------|--------|-------|------------|------------|
| | | | 32 倍未満 | 32 倍以上 |
| HI 抗体価 | 10 倍未満 | 136 | 83 (61.0%) | 53 (39.0%) |
| | 10 倍 | 45 | 5 (11.1%) | 40 (88.9%) |
| | 20 倍 | 62 | 0 | 62 (100%) |
| | 40 倍以上 | 107 | 0 | 107 (100%) |

FPV 中和抗体検査を開始します。

一方、HI 抗体価 10 倍および 10 倍未満の例であっても、それぞれ 88.9%、39.0%が 32 倍以上の中和抗体価を保有していることが明らかになりました（上表）。この成績は、より正確な判定には中和試験が適当であることを示しています。しかし、FPV の中和試験は長期間の検査日数が必要であること（報告日数：14 日以内）から日常検査には不向きです。このため、通常は HI 試験を利用いただき、アレルギーの既往歴や薬物治療中で HI 抗体価が 10 倍以下の場合やワクチンの頻回投与でも HI 抗体価の上昇が見られない場合（ローレスポンドー？）のみ中和抗体検査を追加されることをお勧めします。

●FPV 中和抗体検査は、弊社 V セット（FPV:HI 試験）および FPV HI 抗体検査で FPV 抗体価が 10 倍または 10 倍未満の場合のみ実施いたします。

●お電話にて「FPV 中和抗体検査」追加のご依頼をお受けいたします。

●基本的に検査材料は弊社に保存しているものを供試いたします。

⇒2019 年 3 月 11 日(月)受付分より変更いたします。

マルピー・ライフテック株式会社

〒563-0011 大阪府池田市伏尾町 103 番地

TEL : 072-753-0335、FAX : 072 - 754 - 2208

E-mail : support@m-lt.co.jp、URL : <https://www.m-lt.co.jp>